

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【七里中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	生徒の学び意欲・基礎学力の向上＝教職員の指導力・授業力の向上 (1)学習意欲の向上 (2)基礎・基本の定着 (3)自らすすんで学習する習慣の定着
	↓
実施する学力向上策 【時期・頻度】 (2月)	(1)毎学期2回以上、教職員がお互いに授業を参観し、「七里中学が楽しい授業メソッド」の作成を通して、教職員の指導力・授業力を向上させ、生徒が楽しいと思う授業を実践することで、学習意欲の向上へとつなげる。 (2)授業中において各単元の中で1回以上、基本的な漢字・計算・英単語・重要語句・化学式などの小テストを行い、反復練習を実施する。 (3)毎朝、短時間学習を教育課程に位置付け、スタディサプリを積極的に活用した学習を実施する。また、月1回(原則として木曜日の6校時)「学びの時間」として、個に応じた学びの調整時間を設定し、生徒が自学自習に取り組む。

⑤	年度末評価結果分析(2月)
学力向上策の 実施状況	評価(※) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
	↓
今年度の成果と 次年度の課題	さいたま市学習状況調査(学力) <小3～中3>(1月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩) 学習状況調査研修会

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	調査の振り返り(4月) 児童生徒による振り返り ②調査問題の解説
	↓
結果から考えられる 児童生徒の実態	学力向上策の実施 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	学力向上策の充実 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用
	↓
結果から考えられる 児童生徒の実態	③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
	↓
学力向上策の 見直し	中間評価(9月) 課題・策の見直し

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)